

# 米国ニューオリンズ 国際大会に参加して

角谷真枝(茨木西RC)



5月21日～25日まで米国ルイジアナ州 New Orleans で開催されました国際大会に21日、22日参加してまいりました。4月上旬にミシシッピ河上流で大雨があり、その影響で下流地域が水没しているニュースがテレビで連日放映されていました。その大水量がミシシッピ河口に到達するには90日かかるということで、さすがアメリカ10州6,019kmを縦断するミシシッピだと感心すると同時に、ひょっとして国際大会に影響するのではないかと大変心配しました。2006年5月にもNew Orleansを訪れましたが、その時は、前年ハリケーン・カトリーヌで大きな損害を受けた10カ月後でしたので、訪れる人は全く少なく町全体がとても寂しい感じでした。しかし今回は、丁度5月が米国の卒業式の時期でもあって、卒業記念旅行の若者も多く、復興整備された町全体が明るい雰囲気になっていました。New Orleansは観光地としての本来のカラーを取り戻してきているように見えました。レイ・クリンギンスミス会長は、22日の開会挨拶の際「地域を育み、大陸をつなぐ」という、今年のテーマそのままを表すようなNew Orleansの復興を映像で紹介されたのですが、今回のロータリー国際大会開催は、町の復興に一役も二役も寄与していたのではないかとつくづく感じたところです。24日にはどうしても帰国しなくてはならなかった為、田中作次RI会長ノミニの会長エレクト受諾演説や、楽しみにしていたビル・ゲイツ氏のポリオ撲滅活動の講演が聞けなかったことは非常に残念でした。又近藤雅臣RI理事をはじめ、第2660地区の方々にお会いしたかったのですが、残念ながらお目にかかることができませんでした。やはり日本人食事会に参加しなければ、会議会場でお会いするのは難しそうです。埼玉県からは田中作次会長ノミニがいらっ

しゃる為、大変多くの参加者があったようです。21日、22日は気温33度、アメリカ南部特有の強い日ざしでしたが、良いお天気に恵まれた2日間でした。

## <21日 登録と友愛の家>

身分証明書提示さえすれば登録は大変スムーズでした。今回は日本からEメールで国際大会に関する色々な資料が用意でき、おかげで時間的な計画がたてやすくなりました。登録時に詳しい日本語の大会資料が貰えます。友愛の家のグランドオープニングパレードや、各ブースを見て回りました。日本からは広島平和レポート、東京恵比寿RCの「水と衛生設備」プロジェクト、東日本大震災の被災地域である第2520地区(岩手・宮城)のブースがありました。総てのプログラムが、コンベンションセンター1ヶ所で行われたので移動は大変楽でした。

## <22日 開催本会議>

12時の開場を待つ人でアーネスト・メモリアル・コンベンションセンターのC～Fを貫く物凄く長い行列ができました。しかし、さすがロータリアン、明るいお喋りはあっても総ての人が紳士的で穏やかでした。

- ・元RI会長のご紹介では懐かしい方々がお元気で登場され、特に昨年地区大会におこし下さいましたタイのビチャイ・ラタクルP・Pや、大阪大会の時奥様を亡くされお一人だったマジアベP・Pが、再婚された奥様とご出席されていたのが印象的でした。
- ・オープニングセレモニーでは今年度、大阪天満橋RCから交換学生としてミズーリに派遣されてい



る山村芹菜さんが、1985年レイ現RI会長の助力によって創立されたSCRYE（サウス・セントラル青少年交換多地区合同活動グループ）の一員としてコーラスに参加。彼女の笑顔満面の顔がスクリーンに大きく映し出された時は、実のおばあちゃん？の気分になって涙ぐんでしまいました。彼女は登録会場でも案内ボランティアで活躍していました。コーラスの最後では会場の多くの人が立ち上がり拍手。前列のご婦人もハンカチで涙をぬぐっていらっしゃいました。日本ではさほど感じませんが、国際大会に参加すると、ロータリーが次世代青少年にかけの想いがいかに大きいのか、良くわかります。私は少しの間でしたが、地区の青少年交換委員会の仕事に携わり良かったとつくづく思いました。その他少し気になったこととして、会場には日本語・英語・フランス語・イタリア語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語の通訳提供が用意されていましたが、何故か中国語がありませんでした。理由はあると思いますが、台湾・香港からの参加者、特に台湾からは今回多く参加されていたので気の毒な気がいたしました。

のある頃、綿花の栽培や砂糖生産で富を築いた大農園のことで、「風と共に去りぬ」にでてくるような巨大なオーク（樺の木）群に囲まれた農園主のマンション（大邸宅）の見学ができます。New Orleansから少し上流の両岸にはこうした大きなプランテーションが3つほどあり、会場からバスでプランテーション見学ツアーに参加されたロータリアンもいらしたようです。



### <ニューオリンズの観光とグルメ>

アメリカの中でも少し不思議な雰囲気のある魅力的な町 New Orleans。

街中でジャズが流れるNew Orleansがあまりにも有名ですが、グルメでは、牡蠣、アメリカザリガニ、シーフード料理、ガンボ料理が有名です。又フレンチ・クォーターとよばれる地区にあるカフェ・デュモンドのベニエという小さな四角いドーナツも有名（江坂と茶屋町に、カフェ・デュモンドの支店がありますので、大阪でもベニエが味わえます）。

ヒューストンに戻る途中、息子に勧められてオーケレイというシュガープランテーションを見学してきました。プランテーションというのは奴隷制度

